

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	36480
事業名	さっぽろサステナブルライフ推進費					
評価担当課	所 属	環)環境都市推 環境政策課			電話番号	011-211-2877
施策名	誰もが経済・社会とのつながりを理解しながら環境保全や気候変動					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	SDGsやパリ協定の採択・発効など、国内外で脱炭素化への取組が加速しており、本市においても、2050年に温室効果ガス排出量を実質ゼロにするゼロカーボンシティの達成に向けた取組を強化している。また、環境のみならず経済や社会課題などの統合的解決につなげていくSDGsの視点に立った市民・事業者のライフスタイルの変革が求められるが、その先導的な役割を担う人材が不足している。 ライフスタイルの変革には、市民一人一人がSDGsや日々の暮らしの中で環境保全を意識し、行動に移すことが重要であり、持続可能な暮らし方とは何か考え、対話を通じて学ぶ機会を創出することで、意識と行動の変容を促す。さらに、そのような暮らし方を先導的に実践し、地域内で伝えていく人材を発掘及び育成することで、実践の輪を広げていく。
	事業内容(何を実施し)	①環境広場さっぽろの開催 子どもを主な対象に、環境教育の場を提供するみらいを想う総合環境イベント「環境広場さっぽろ」を開催している。令和5年度は、G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合の記念イベント「環境広場ほっかいどう2023」が同会合実行委員会主催で開催されたため、「環境広場さっぽろ」としての開催を見送った。 ②Think Greenをキーワードにした普及啓発 市民のライフスタイルの転換促すため、環境を起点に経済・社会課題の統合的な解決にもつなげていくSDGsの考え方に立った普及啓発を進めるとともに、地域社会において環境・SDGsの実践を率先して取り組む人材を育成する。 令和5年度は、「対話を通じて学び、考え、行動する」をコンセプトに、テーマに沿った有識者等からの知識のインプットや有識者等も交えた対話による各個人の考えのブラッシュアップ、さらには自ら企画することで気候変動対策やSDGsの実践に係る実践力を磨く一連のプログラム「さっぽろ気候変動タウンミーティング」を実施した(参加登録者59人)。 また、動画やパネル等のコンテンツを充実させ、SNSや広報媒体を活用した情報発信のほか、さっぽろ雪まつりをはじめとした市内イベントへの出展により多くの市民等への普及啓発を行った。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	第2次札幌市環境基本計画の将来像に掲げる「次世代の子どもたちが笑顔で暮らせる持続可能な都市『環境首都・SAPPORO』」の実現に向け、市民の脱炭素型ライフスタイルへの転換が促され、脱炭素型ライフスタイルを実践している市民が増加する(2022年度36%⇒2027年度60%)。
	他都市の状況	北海道(脱炭素社会に向けた行動変容促進事業)、小田原プロジェクト(湘南電力㈱)と武蔵野大学等による持続可能な地域づくり人材育成プロジェクト)、ヨコハマSDGsデザインセンター(横浜市)
	市民参加の実施	☐ 企画 ☒ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	37,769 千円	うち特定財源	33,574 千円	正規職員業務量	2.3 人工
令和5年度予算額	41,000 千円	うち特定財源	36,281 千円	正規職員業務量	2.3 人工
令和5年度決算額	34,061 千円	うち特定財源	30,039 千円	正規職員業務量	3 人工
令和6年度予算額	69,000 千円	うち特定財源	55,281 千円	正規職員業務量	3 人工

指標	アウトプット活動指標1	イベント・セミナー等の年間参加者数(人)				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		21,304	31,000	12,823	31,000	31,000	31,000
	↓						
	アウトカム成果指標1	脱炭素型ライフスタイルを実践している割合(%)				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		52.5	46	46(見込)	50	53	56
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	G7札幌会合開催記念イベントの開催により、環境広場さっぽろがなかったことから、人数が落ち込んだ。市内各所でイベントへの出展等により多種多様な層への訴求を継続していく。					
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	事業費を統合し、分割していた業務を一体的に委託することで、事業間のシナジー効果を期待するとともに、事務手続きの軽減を図る。
来年度以降の方向性	市民・事業者が持続可能な暮らし方について考える機会を創出し、脱炭素型ライフスタイルへの転換の理解や行動を促すため、環境広場さっぽろにおけるコンテンツの充実や広報の強化を行うとともに、先導的な役割を担う人材を育成するための取組を進める。